

第6期第4回 中地区公民館運営審議会 会議次第

平成30年12月10日(月)午後1時～  
会場 中地区公民館 4階 会議室

1 開 会

2 議 事

(1) 平成29年度事業評価シートの委員意見について・・・資料1

(2) 平成30年度事業の中間報告について・・・・・・・・・・資料2

(3) 平成31年度予算の策定状況について・・・・・・・・・・資料3

(4) 平成31年度事業に関する委員提案について・・・・・・・・資料4

3 その他

(1) 運営審議会正副議長会議について(11月30日時点で開催されず)

(2) 第7期運営審議会委員の選任について(公募スケジュールのお知らせ)

4 閉 会

## 平成29年度事業評価コメント記入シートに関する運営審議会委員の意見

## 【全体を集約した意見（案）】

	中地区公民館	石山地区公民館	木戸公民館
(案)	<p>全体的に、堅実に事業を展開している。受講者の満足度や気づきも目標値を上回っている。</p> <p>事業数が当初計画どおりの年度があるので、計画を超える積極的な展開を望む。市民の目に留まるよう講座名も工夫を望む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の担い手の発掘と育成は喫緊の課題であり、東区みらいサポーター養成講座は継続すべき。</li> <li>・地域のたから再発見事業は、昔～今への変化がわかる良い講座である。学社民の融合による地域づくりにもつながっている。</li> <li>・家庭の教育力向上は事業数も参加者も多く、成果をあげている。双子講座の隔年開催など細かな配慮を望む。</li> <li>・学習室等は子ども自ら取り組む姿勢を育んでいる。ぼてっ子サークルは教員への参加呼びかけを提案する。</li> <li>・農業体験講座の継続など、今後もシニア向けの事業を企画してほしい。</li> </ul>	<p>全体的に、意欲的に事業を展開し成果をあげている。</p> <p>事業名や情報提供の方法の工夫等により、地域に定着している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミ協等との連携強化が図られ、地域づくりに一定の成果があった。今後も地域活動の担い手の発掘・育成を望む。</li> <li>・地域の小・中学校との連携とその拡大を目指す取り組みを評価する。</li> <li>・アクティブシニア世代対象の講座の更なる充実により、地域型公民館としての役割を強めてほしい。</li> <li>・夜間開催等の成人対象事業が、サークル結成に繋がっており、評価する。</li> <li>・無料講座に申し込みが集中する傾向があるので、本当に学びたい人を選別する工夫を検討してほしい。</li> </ul>	<p>現状として、事業を実施し、また地域活動の場として利用されている。木戸公民館の事業や館の存続については、利用者や地域の意見を踏まえ、様々な視点から考えていかななくてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三世代交流音楽芸能祭は、地域の団体の協力により地域に定着し、充実したものとなっているが、今後は地域の力がより事業の主力となるよう望む。</li> <li>・木戸っこくらぶは、参加者が減少しており、交流ができているのか検証が必要である。他の子育て支援施設が開設されている状況も踏まえ、事業の在り方を検討する時期に来ている。</li> </ul>

委員	中地区公民館	石山地区公民館	木戸公民館
(大桃委員)	<p>全体的には、堅実に事業を展開している。受講者の満足度(平均値)、受講者の気づき(平均値)は、データが出されているすべての事業で目標値を上回っている。</p> <p>農業体験講座が十分な成果をあげて事業終了したことは評価できる。同時に、今後もアクティブ・シニア向けの健康づくりの事業を企画してほしい。</p>	<p>全体的には、意欲的に事業を展開し成果をあげている。高齢者の学習や社会参加を支援する事業が必要性、有効性、効率性の平均値の評点がすべて4(適切・十分)であったことは評価できる。引き続きアクティブ・シニア向けの魅力的な健康づくりのできる講座を企画してほしい</p>	<p>木戸公民館の事業については、引き続き、さまざまな視点から検討していく必要がある。</p>
(菑澤委員)	<p>たくさんの事業を運営され、その一つ一つにいていねいな評価をされていることに敬意を表します。</p> <p>・「ぼてっ子サークル」は、学校とのかかわりがとても深い事業と思います。</p> <p>地域の小中学校にも、教員の参加を呼びかけてはどうでしょうか。</p> <p>学校としても、教職員はもちろん、教育実習に来た学生や、学習ボランティアに来ている学生に呼びかけることもできます。</p> <p>私も今年の8月2日の「行ってみよう～、火力発電所・せんべい王国」に参加してみたい・・・と思ったのですが、すでに予定が入っていました・・・残念です。</p> <p>「新潟市のあゆみ 東区の歴史 概要編」も興味がありました。同様の事業があったらぜひ参加してみたいです。</p> <p>今年は、何か事業に参加してみたいと思っています。</p>	<p>たくさんの事業を運営され、その一つ一つにいていねいな評価をされていることに敬意を表します。</p> <p>・「3スロー健幸教室」にはとても興味があります。会議でも申し上げましたが、(他の事業も含め)勤め人も参加したいと思う魅力的なものがたくさんあります。休日や夜間の(勤め人が参加可能な)事業を実施する際、アンケートをとってみてはどうでしょうか。事業名一覧を出して、○を付けてもらうだけでもよいと思います。</p>	<p>事業一つ一つにいていねいな評価をされていることに敬意を表します。</p>

<p>(遠見委員)</p>	<p>様々な事業で内容が充実しています。もっと市民の目にとまるような「事業名」にすることで、参加者が増えるような気がします。</p>	<p>「地域コミュニティー活動の活性化」、「家庭の教育力向上」や「青少年の生きる力育成」の事業が充実しています。 「現代的課題」などは、大学教師などを講師に迎えて、現代社会における様々な課題をワークショップ的に解説するような事業があればよいと思われます。</p>	<p>せつかくの施設です。廃止に追い込まれないような事業が必要です。 もっと市民に開放的な施設になれば良いように思われます。</p>
<p>(安原委員)</p>	<p>27年度当初事業計画数が34件、事業実績数が35件。 28年度当初事業計画数が30件、事業実績数が30件。 29年度当初事業計画数が30件、事業実績数が36件。 27年度事業評価シート内容は、B評価28件、C評価2件。 28年度事業評価シート内容は、B評価全て25件。 29年度事業評価シート内容は、A評価2件、B評価25件、C評価1件、D評価1件となっている。 事業数との誤差は、その他項目を評価しないからだろう。何が言いたいかといえば、事業評価シート自体を疎かにしていることです。28年度がその最たるものと言えようがありません。そして、事業計画数と実績数が同じとは意欲のかけらも無いということです。その意味で、29年度は多少ともマシになったのか。</p>	<p>27年度当初事業計画数が28件、事業実績数が32件。 28年度当初事業計画数が28件、事業実績数が36件。 29年度当初事業計画数が30件、事業実績数が40件。 27年度事業評価シート内容は、A評価2件、B評価19件、C評価1件、D評価3件。 28年度事業評価シート内容は、A評価5件、B評価21件、D評価4件。 29年度事業評価シート内容は、A評価2件、B評価23件、C評価5件、D評価2件。 普通に仕事をしていれば、この程度の評価割れはするでしょう。 石山地区は、無料講座にやたら人が群がるので、本当に来たい人をどう選別するか、もっと真剣に考えなくてはならないです。</p>	<p>木戸公民館などという公民館は存在しません。実態として・・・</p>

<p>(井上委員)</p>	<p>1 地域コミュニティ活動の活性化支援          ・地元コミ協との共催で、地域の高齢者と子どもたちが楽しく触れ合い地域の事を学べることは、評価される。          ・「おもちゃ作り」「たこ作り」は、周知に工夫が必要なのではと、思われる。</p> <p>2 学・社・民の融合          ・学校との協力で、子どもたちと地域の人達が楽しく学び、触れ合うことは、大いに評価される。</p> <p>3 家庭の教育力向上          ・各事業の参加度が高く、評価される。保育連絡会など、きめ細かい配慮は大事なことだと思う。</p> <p>4 青少年の生きる力育成          ・学習室の提供、将棋教室など、子どものニーズをくみ取り、子ども自ら取り組む姿勢を育む良い事業だと思う。</p> <p>5 高齢者の学習・社会参加支援          ・「農業体験講座」は、重点事業の3か年を経過したため、事業終了とあるが、参加者の評価は高いようなので、継続することは出来ないのか。</p>	<p>1 地域コミュニティ活動の活性化支援          ・コミ協などとの、連携強化が図られ、支え合いの地域づくりに一定の成果があった。</p> <p>2 学・社・民の融合          ・地域の小・中学校とのパートナーシップが上手く働き、連携校の拡大を目指す取組は、評価される。</p> <p>3 家庭の教育力向上          ・保育室での工夫により、預かる子どもたちへの対応がスムーズになったことは評価される。</p> <p>4 青少年の生きる力育成          ・夏休みの子ども事業など、子どもたちの嬉々とした姿が目につかぶようである。改善点にある、救済措置は、良かったと思う。事前の参加人数の把握は、難しいものであると思うが、希望した子どもたちがスムーズに参加できるように工夫して欲しい。</p> <p>5 高齢者の学習・社会参加支援          ・参加者の意欲が高く、評価される。</p> <p>6 現代的課題          ・現代的な課題である、仕事を持ちながら、夜間に活動する事業として、サークル化に繋がり、評価される。</p>	<p>1 地域コミュニティ活動の活性化支援          ・音楽芸能祭は、改善を図り、より充実した内容で実施できていることは、評価される。</p> <p>3 家庭の教育力向上          ・29年度の参加者が平均2人ということと、30年度には、寺山に子育て支援施設が出来たことから、存続かどうかの検討が必要と思う。</p>
<p>(丸山委員)</p>	<p>地域コミュニティ活動活性化支援事業          地域活動の担い手発掘と育成は喫緊の課題です。「東区みらいサポーター育成講座」は良い企画です。東区地域課、地元のコミ協からも企画委員に入ってもらい、より充実した(楽しく学べて、人脈づくりができる)ものに</p>	<p>地域コミュニティ活動の活性化支援事業          13の事業に取り組み成果を上げている地元コミ協との協力関係も良好に行われておりますが、各種事業を通して地域活動の担い手発掘、育成を支援してください。          「健康講座」等人気講座を種々企画運営さ</p>	<p>地域コミュニティ活動の場として活用されており、今後とも利用団体の支援をお願いします。(耐震等の安全対策は完了していると思いますが、確認と対策をお願いします。)</p>

	<p>してください。継続実施を望みます 家庭の教育向上事業13の事業に取り組み成果をあげている。子育てに悩む家庭が多い中、今後とも積極的な取り組みをお願いします。</p>	<p>れ、地域の高齢者の学習・社会参加、健康促進に貢献しています。 自主事業の立ち上げ、希望者が継続的に学習・社会参加健康促進にできるように支援をお願いします。</p>	
(高橋委員)	<p>6の現代的課題を探り、解決を支援する事業が0事業なのが気になる。各年度ごとに全事業の実施が望ましいのではないかと。 2の学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業では、小・中各1校ずつであったが、各学校の地域教育コーディネーターに働きかけ、公民館の利用を訴える必要があると思われる。</p>	<p>5と6のサークル化がみられ成果を感じる。人気のある講座を拡大して次の講座へとしたことは素晴らしいと思う。今後にも期待できると思われる。</p>	<p>三世代交流音楽芸能祭は定着してきているように思えるので、だんだん公民館側が手を引いてもよいのではないだろうか。 子育て中の親子が出掛ける所が増え、「木戸っ子くらぶ」の必要性を考え直す時期が来ていると思われる。</p>
(小浜委員)	<p>家庭教育向上に取り組む姿勢が理解され、参加者も多い。子育てサークルの充実など評価に値する活動を続けている。</p>	<p>石山地区の地域住民構成も年々変化してきている。出前講座は良いことと思う。アクティブシニア世代もこれからどんどん増えその方たちにスポットをあてた講座の充実等をこれからも検討し、地域型公民館としての役割を強めていただきたい。</p>	<p>あの限られた環境の中で地域住民に満足を得た活動・講座は評価に値すると思う。</p>
(石井委員)	<p>公民館スタッフのご努力により、魅力ある事業に取り組まれたようで、その成果が感じられました。 特に、「地域のたから再発見事業」や「セカンドライフ農業体験講座」は、反響が良かったようですので、今後も継続して取り組まれることを期待します。</p>	<p>「ご近所だんぎ」、「お互いさまネット」など絶妙なネーミング効果もあってか、活動全体が地域にしっかり根付いていることを実感いたします。 利用者の意識や関心の高さによることもありますが、情報提供の仕方や雰囲気づくりに公民館自体が積極的に努力されてきた結果だと思えます。 利用者について、特定の方々が繰り返し参加されているのか、新たな利用者がどのくらい増えているのかを知りたいと思います。</p>	<p>公民館の維持については様々なご意見があると思いますが、たとえ一つでも事業が実施されれば、公民館という場が存在している意味があると考えます。 逆に言えば、その場がなかったら一つの事業や活動が消滅してしまうことになるので、可能な限り維持継続してほしいと願っています。</p>

<p>(津野委員)</p>	<p>どの重点のものも、受講者満足度が高く、毎年改善しながら良い活動を行っていると思います。子どもに関する事業はどれもニーズがあるように感じた。双子・三つ子講座は毎年の開催は難しいとの事だが、この手の講座は少ないと思うので1年おきとかでも実施していただけたらいいなと感じました。</p> <p>地域のたから再発見など地域学の講座もまち歩きをしたり、今と昔の変化を知るとてもいい講座だと思います。地域の人を知る学校でも総合学習に活用したりと学社民の融合による地域づくりにもつながっているように感じました。</p>	<p>近隣の学校との連携が多くありとても活発な活動をされていると思います。大人向け講座も工夫が見られサークル結成につながっている点もいいと思います。</p>	<p>三世代交流音楽芸能祭はコミ協や小中学校 PTA, 地域の団体が協力して充実したものになっているが、公民館事業の活動からコミ協などを中心とした地域の活動へ移行してもよいのではないかと。</p> <p>木戸っ子くらぶについて自由参加の活動だが、平均活動人数も2人と少なく交流などがはかられているか疑問もある。</p> <p>木戸公民館自体の運営も数年のうちに(維持費なども考え)閉館もやむなしと思います。</p>
---------------	---	--	---

平成30年度事業実施状況(中間報告 11月15日現在)

資料2

中地区公民館																	
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4月～11月15日)				今後実施予定(11月16日～3)		連 携				備考	
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア等		
1. 地域コミュニティ活動の活性化支援	1	コミュニティ・コーディネーター育成講座「東区ジブン☆ミライカイギ」	・新たな地域活動の担い手の人材発掘及びネットワーク形成 ・多様な立場の人と意見交換することで、自分自身の働き方や生き方を見直すきっかけとする。 ・自分の住む地域について考え、知るきっかけとする。	成人	1月					1	午前	○				石山地区公民館と共催	
	2	コミュニティ協議会等との共催事業「夏まつりフェスタ」	地域住民の多世代交流および山の下まちづくりセンターの認知度アップを目的に、山の下・桃山コミュニティ協議会及び山の下まちづくりセンターとの共催で、夏まつりを開催した。	総合	7月	1	午後	149	149				○			山の下・桃山コミ協、山の下まちづくりセンター	
	3	アクティブシニア講座「山登り入門」	人生を楽しく豊かに過ごすため、さまざまな趣味にチャレンジする。体力作り、健康づくりに役立ち、仲間作りにつながる山登りの入門講座を開催した。2回連続講座として、①登山の楽しみと技術の講義、②弥彦山登山(実習)を実施。	総合	11月	2	午前・午後	8	9						○	九期山の会	
	4	ユースセミナー「20～30代限定!!ちょっと豪華な木曜日」	・地域で働く方の話を聞くことで、自身の可能性や視野を広げる。・地域について知り、興味・関心を高め、若者から外に出てもらうことで地域活性化につなげる。・他者との関わりを作ることで、自分自身と向き合い、これからの自分の生き方について考える。・若者に公民館を知ってもらおうきっかけを作ることを目的に実施する。コミュニケーションゲーム・木製ティッシュボックス作成・地域学習サークル「中地区地域楽」と連携し、地域への関心を高め理解を深める学習会を実施。・「民話体験講座」では語り手養成を実施。・「中地区地域楽会員と歩く山の下☆今昔まちあるき」では山の下南門排水機場ほか山の周辺の下まちあるきを実施した。	成人	11月～12月					3	夜間						
	5	地域のたから再発見事業	地域学習サークル「中地区地域楽」と連携し、地域への関心を高め理解を深める学習会を実施。・「民話体験講座」では語り手養成を実施。・「中地区地域楽会員と歩く山の下☆今昔まちあるき」では山の下南門排水機場ほか山の周辺の下まちあるきを実施した。	総合	8・9・12・2月	2	午前	37	37	2	午後・夜間						中地区地域楽
2. 学・社・民の融合	6	ふれあいスクール公民館出前型「大形ぼっ子サークル 特別編 味噌づくり体験」	大形中学校PTAと共催し、保護者と地域の大人による味噌づくりと味噌を使った料理教室を開催し、食育についての意識啓発を図るとともに地域の交流を行う。	成人	6月・11月	2	午前	26	46				○	○	○	大形中、大形民生委員、運営委員	
	7	サークル活動でふれ合おう(桃山小学校総合体験学習)	桃山小学校3年生の総合学習として、公民館見学やサークル活動への参加を通じて児童と地域の人々とのふれ合いを深めることを目的に実施。5月31日・6月28日・7月12日・9月13日に実施。手話・茶道・生け花・将棋・卓球サークルと桃山小学校3年生がサークル体験を通じて交流した。	総合	6月～9月	4	午前	141	522				○		○	桃山小学校	
3. 家庭の教育力向上	8	乳児期家庭教育学級(第2期)「ゆりかご学級」	乳児の保護者を対象に、保護者の学びと仲間づくりの場となる連続講座を開催した。	成人	6月～7月	5	午前	20	90			○					
	9	乳児期家庭教育学級(第4期)「ゆりかご学級」	乳児の保護者を対象に、保護者の学びと仲間づくりの場となる連続講座を開催予定。	成人	1月～2月					5	午前	○					
	10	幼児期家庭教育学級「ママ研究室～守りたい!子どものこと、ママの心、家計～」	幼児期の子どもを持つ親同士が、子育て中の不安や悩み、喜びをみんなで共有し、専門的な知識を得ることで、今後の子育てや生活をより豊かに充実したものとするを目的に開催した。子どもの権利の講義、教育資金の講義、怒り方の講義、グループワークなどの学習会を実施した。	成人	5月～6月	5	午前	29	121							企画・実行委員4人	
	11	幼児期家庭教育学級「親子のびのび広場」	幼児の保護者の学びと交流の場として、また子どもの成長の場として、親子あそびを実施。父親が参加しやすいよう土曜日に開催し、子育てへの参画を促す機会とする。	総合	1月					2	午前						
	12	小学生期家庭教育学級「聴いてスッキリ!親も子も笑顔になる!極意を伝授します」	子どもを持つ親として必要な知識や心構えを学ぶとともに、子どもが自分らしく健全に成長できるよう、親としてどう関わればよいか考える機会とする。ストレスとうまく付き合うコツ、命の視点から子育ての意味を考える。親子のよりよいコミュニケーションを図るスキル、子どもや親自身の自己尊重・自己肯定感について考える講座を開催予定。	成人	11月～12月	1	午前	29	27	3	午前				○	企画委員4人	
	13	保育連絡会	各事業の保育室運営を円滑に行うための、保育者との情報交換会を開催。	成人	4月	1	午前	6	6								
	14	子育てサロン「ひだまり」	ボランティアスタッフの協力により、保育室を会場に未就園児と保護者の仲間づくりや情報交換の場を提供。保健師の育児相談や絵本の読み聞かせなどを実施。	総合	4月～3月	30	午前	平均6.9	207	17	午前	○			○	東区健康福祉課、山の下図書館、活動協力員	
15	子育てサロン「ひだまり」スペシャル「マザーズハローワークへようこそ」人形劇おきなかぶ」	子育てサロン「ひだまり」を周知するために、単発のイベントを開催。9月6日に再就職のためのミニ講座「マザーズハローワークへようこそ」10月18日に「人形劇おきなかぶ」を実施した。	総合	9月・10月	2	午前	34	34						○	人形劇サークル「みつくすじゆうす」ハローワーク新潟マザーズハローワーク		

平成30年度事業実施状況(中間報告 11月15日現在)

資料2

重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4月～11月15日)				今後実施予定(11月16日～3)		連 携				備考
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア等	
	16	子育てサロン「共育(ともだち)ひろば」	ボランティアサポーターや大形地区の民生委員の協力により、大形まちづくりセンターを会場に、未就園児と保護者の仲間づくりや情報交換の場を提供する。	総合	4～3月	24	午前	平均 8.0	192	15	午前					大形民生委員
	17	子育てサロン「共育(ともだち)ひろば」スペシャル「わいわい元気に！七夕運動会」	子育てサロン「共育(ともだち)ひろば」を周知するために、単発のイベントを開催。7月4日に「わいわい元気に！七夕運動会」を実施した。12月19日には親子で楽しむクリスマスコンサートでハンドベルを聞いたり一緒に歌うミニコンサートを開催予定。	総合	7月	1	午前	12	12	1	午前					大形民生委員 学生ボランティア
	18	おはよう朝ごはん料理講習会	早寝早起き朝ごはん運動の推進を目的に、親子を対象に栄養バランスを考えたメニューの調理実習を開催。(桃山・大形で実施)桃山小学校区では11月4日に開催した。11月17日に大形で実施予定。	総合	11月	1	午前・午後	46	46	1	午前					桃山小学校区コミュニティ協議会・大形小学校区コミュニティ協議会
4. 青少年の生きる力育成	19	ジュニア将棋教室	日本文化としての将棋を学ぶとともに、基本的な礼儀や社会的なルールを身につけることを目的に、連続講座を開催。	少年	4月～3月	11	午前	39	204	8	午前					日本将棋連盟・新潟市将棋普及協議会、学生ボランティア(新潟大学将棋部)
	20	少年体験事業「きらきらチャレンジ」	調理実習や工作などの体験活動を通して、自ら考え取り組む姿勢を育む。また異年齢での集団活動の中で、協調性や社会性を身につける機会とする。7月24日は「ロボットで遊ぼう!」、8月3日は「大なわとびに挑戦!」を各回募集で実施した。12月26日は「寄せ植えでお正月を迎える玄関飾りを作ろう!」を実施予定。	少年	7月・8月・12月	2	午前	平均 25	50	1	午前					
	21	子ども学習会	①定時に公民館に通うことで、長期休暇中も規則正しく過ごす習慣をつける。②学校から出された宿題をやりきること、休職終了後に自信を持って学校に行けるようにする。夏季は6日間、山の下小・桃山小4・5・6年生を対象に実施した。冬季は4日間、同小学校4・5・6年生あてに募集予定。	少年	8月・12月	6	午前	27	115	4	午前					新潟県生涯学習推進協会
	22	青少年の居場所事業「ホットプレイス」	学校や家庭以外に、子どもたちが安心できる「居場所」を設ける。また地域の大人と子どもがふれあえる場とする。	少年	4月～3月	219	午前・午後・夜間	平均 18.3	4002	126	午前・午後・夜間					
	23	学習室開放事業	青少年の個人学習の支援を目的に、公民館の会議室を学習スペースとして提供する。	少年	4月～3月	99	午前・午後・夜間	平均 1.5	148	56	午前・午後・夜間					
	24	少年体験事業「大形ぼてっ子サークル～夏の面白体験学習～」	体験活動を通して自ら考え、取り組む姿勢を育む。また異年齢での集団活動の中で、協調性や社会性を身につける機会とする。各回募集で「かわいいどんぐり細工」「行ってみよう、やってみよう!夏のおもしろ体験」「木で作る音が鳴る鈴の小箱」「大型スクリーンでアニメを楽しもう」を実施した。	少年	7月～8月	4	午前・午後	平均 24	96							学生ボランティア
5. 高齢者の学習・社会参加支援	25	ちいきのサロン「この指とまれ」	中高年の社会参加を促し、交流の輪を広げること、個人の経験や能力を生かし、生きがいを持って生活できることを目的に開催。公民館版の「地域の茶の間」であり、自由な談話を中心に、ときどき講演会やイベントを実施。	高齢者	4月～3月	15	午前	平均 14.5	217	9	午前					活動協力員
	26	健康体操教室	体操で体を動かすことで、生活習慣病や寝たきりを予防する。会話による認知症の予防やコミュニティづくりに役立てる。自主グループ化することにより公民館利用の活性化を図ることを目的に8月～9月に4回連続講座を開催した。	高齢者	8・9月	4	午後	平均 12.3	49							
6. 現代的課題	27	法務省委託事業(平成30年度人権啓発活動)地方委託事業「障がいがあっても支え合えばみんな一緒!障がい者に関する人権を考えよう☆共に生きるまちづくり人権講演会」	障がいのある人への理解不足や誤解、偏見をなくすため、障がいの多様性を認識し、障がいや障がいのある人に対する理解を深めることを目的に、平昌パラリンピック入賞選手出来島桃子選手・新潟県中途失聴・難聴者協会新潟支部会員等を講師に開催した。	総合	10月	1	午後	43	43							人権擁護委員・障がい福祉課
	28	冬休み映画鑑賞会	子どもも大人も対象に情緒を豊かにする目的で実施予定。	総合	12月					1	午後・夜間					運営審議委員
7. その他	29	文化祭	公民館の定期使用団体(サークル)の作品展示、音楽芸能活動の発表会。10月21日の音楽芸能カラオケ発表会は550人が参加、11月3日4日の作品展示・写真展は490人が参加。11月10日の社交ダンスパーティーは42人が参加。	総合	10～11月	4	午前・午後・夜間	1082	1082							中地区公民館使用団体連絡協議会
	30	定期使用団体研修会	公民館利用についての意見交換会と次年度の定期利用の説明会を開催。11月10日に実施。各団体の会計における通帳の利用について意見交換をした。	成人	11月	1	午後	62	62							
	31	サークル体験学習会	公民館の定期使用団体(サークル)の活動の活性化のため、強化月間を設けてサークル体験会を開催し、新規会員の募集を行う。	総合	3月					60	午前・午後・夜間					中地区公民館使用団体連絡協議会
	32	自主グループ育成事業	公民館の定期使用団体(サークル)の新規会員募集を支援するため、サークル体験会の実施について広報や助言等を行う。	総合	随時	32	午前・午後	平均 0.5	15							中地区公民館の定期使用団体
合計						479		1,901	7,581	315						

平成30年度事業実施状況(中間報告 11月15日現在)

石山地区公民館																
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4月～11月15日)				今後実施予定(11月16日～3月)		連 携			備考	
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等		連審委員・活動協力員・ボランティア
1. 地域コミュニティ活動の活性化支援	1	お互いさまネット石山	高齢化によって発生する地域の問題を把握し、コミュニティ協議会を中心にした支え合いの地域づくりを目指す。	総合	6～7月	4 連続講座	午前	36	133	-	-				石山管内4コミュニティ協議会(中野山・東中野山・南中野山・江南小学校区コミ協)	
	2	「すごぼり」の桜並木を歩こう	コミュニティ協議会等と連携し、すごぼりの桜並木の散策・ゴミ拾いを通じて、地域コミュニティ活動の活性化及び地域の子どもとおとなの交流及び環境美化意識を深める機会とする。	総合	4月	1 自由参加	午前	180	180	-	-		○	○	南中野山小学校区コミュニティ協議会、同校PTA、東区社会福祉協議会	
	3	親子で笹団子づくり	郷土料理である笹団子の調理を通して、地域の子どもとおとな、また子ども同士、おとな同士が交流し合う機会とする。	総合	6月	1	午前	40	40	-	-		○	○	南中野山小学校区コミュニティ協議会	
	4	ご近所だんぎ	地域課題をテーマとして取り上げ、学習・話し合いを行うことで、地域で支えあうまちづくりについて考えるきっかけとする。	総合	4月～3月(9・12月除く)	6 自由参加	午後	平均 44.6	268	4	午後				○	ご近所だんぎ世話人(東区地域住民)
	5	紙ヒコーキ選手権	子どもから大人までが作ることができ、一緒に楽しむことができる紙ヒコーキを通じて、江南小学校区での多世代交流の場とする。	総合	11月	-	-	-	-	1 自由参加	午後		○	○		江南小学校区コミュニティ協議会
	6	石山地区芸能まつり	公民館利用団体等の音楽・芸能団体が実行委員会を組織し開催する芸能まつり。日頃の学習の成果を発表することで地域住民への文化の還元にもつなげる。	総合	5月	1 自由参加	午後	160	160	-	-				○	石山地区芸能まつり実行委員会
	7	地域発見講座「ファインダーのこっち側」	地元住民たちが見過ごしがちな地域の魅力等を掘り起こし、郷土愛を育む。夜間に開催することで、日頃、公民館へ足を運ばない人たちが参加できる環境を作る。	総合	9月～3月	1	午後	28	28	2	夜間					
	8	いしやま寄席	とやの落語会による寄席。地域住民の交流を図るほか、笑いによる健康寿命延伸を図る。また、文化祭期間中に開催することで2つの事業の相乗効果を期待。	総合	9月	1	午前	42 自由参加	42	-	-					文化祭期間中開催
	9	歌声喫茶 屋のヒットパレード	高齢者でも歌いやすい1970年代のヒット曲を、参加者と一緒に歌うことを通じ、地域住民の交流、歌による健康増進を図る。	総合	9月	1	午後	79 自由参加	79	-	-					文化祭期間中開催
	10	TAMIさんのドタミファソラド音楽会	音楽を通じて参加親子同士の交流を図るほか、身近で会いに行けるプロフェッショナル(シンガーソングライター)と交流できる機会を提供する。	総合	9月	1	午後	53 自由参加	53	-	-					文化祭期間中開催
	11	心に響く冬のコンサート	公民館利用団体等の音楽活動団体で実行委員会を組織し、開催するコンサート。日頃の学習の成果を発表することで、地域住民への文化の還元にもつなげる。	総合	12月	-	-	-	-	1 自由参加	午後				○	心に響く冬のコンサート実行委員会
	12	木工教室	夏休み中に開催した石山あそび隊～木の小笛づくりが好評で抽選に漏れた子どもたちが多かったため、文化祭期間中に木工教室を開催し、木を使っての工作の機会を再度提供。若い世代の親子などが文化祭に足を運ぶきっかけとしても	総合	9月	1	午前・午後	55 自由参加	55	-	-					文化祭期間中開催
2. 学・社・民の融合による人づくり・地域づくり	13	ふれあいスクール公民館出前型	学校と公民館、地域住民が協働で、小学校文化祭時に茶室を運営。地域と学校、そして地域住民間での交流やふれあいの場を創出。	成人	10月	1	午前	40	40	-	-		○	○	東中野山小学校、学校支援ボランティア、公民館利用団体等	
	14	学・社・民融合の学校出前講座「夏休みものづくり」	学校を会場に、公民館と学校、地域住民が協働し、工作等の地域の達人が小学生に教えることで交流をはかる。竹とんぼ・ベットの風鈴・ストラップづくり。	少年	8月	1	午前	29	29	-	-		○	○	東中野山小学校、学校支援ボランティア	
	15	ポプリ作り講習会	ポプリ作りを学びながら、石山中学校生徒と地域住民の交流を支援する。	総合	7月	1	午後	32	32	-	-		○	○	石山中学校、活動協力員	
3. 家庭の教育力向上	16	乳児期家庭教育学級(第3期)「ゆりかご学級」	乳児の保護者を対象に、保護者の学びと仲間づくりを目的として連続講座を開催する。	成人	10月～11月	3 連続講座	午前	22	60	3	午前	○			石山地域保健福祉センター	
	17	幼児期家庭教育学級	幼児の保護者を対象に、保護者の学びと交流の場となる連続講座を開催する。	成人	2月～3月	-	-	-	-	5 連続講座	午前				○	
	18	子育てサロン「りんごランド」	地域のボランティアスタッフが見守る中で、0歳からの未就園児が思い切り体を使って遊べる場を提供。また、保護者の情報交換や仲間づくりの場とする。	総合	4月～3月	7 自由参加	午前	20.6	144	12	-	○		○	石山地域保健福祉センター、子育てサロンボランティアスタッフ、公民館利用団体等	
	19	子育てサロン「いちごランド」	保育室を使い、0歳から未就園児までの親子の居場所と情報交換や仲間づくりの場とする。	総合	4月～3月	13 自由参加	午前	29	387	9	午前				○	ぐりとぐら、石山地域保健福祉センター、子育てサロンボランティアスタッフ
	20	おはよう朝ごはん料理講習会	地域住民や子どもたちを対象に、栄養バランスを考えた料理講習会を開催し、早寝早起き朝ごはん運動を推進する。(江南小・牡丹山小・竹尾小)	総合	8・11・12月	1	午前・午後	24	24	2	午前・午後		○	○	江南小学校区コミュニティ協議会、牡丹山小学校区コミュニティ協議会、木戸地域コミュニティ協議会	
	21	東区子育てサロンボランティアスタッフ研修会	子育てサロンの支援にかかわるボランティアスタッフの資質向上	成人	11月	1	午前	24	24	1	午後					
22	おやこの食育教育	食事の大切さを学ぶほか、調理を通じて親子のコミュニケーション向上を支援する。	総合	11月	1	午前・午後	30	30	-	-				○	食生活推進員 東支部石山グループ	

平成30年度事業実施状況(中間報告 11月15日現在)

石山地区公民館																
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4月～11月15日)				今後実施予定(11月16日～3月)		連 携				備考
						回数	時間帯	参加者数 (人)	延参加者数 (人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育 コーディネーター	コミ協・自治 連・老人会等	連審委員・活 動協力員・ボラ ンティア	
4. 青少年の生きる力育成	23	冬休み子ども体験「キッズダンス」	大学生と小学生が協同でダンス制作行い、発表を通してコミュニケーション力、達成感、自己肯定感をUPさせる。	少年	12月	-	-	-	-	1	午前			○		新潟医療福祉大学ダンス部
	24	冬休み子ども体験「こねこねせっけん」	体験活動を通して、子どもたちの豊かな心をはぐくみ、さまざまな学年や他校の児童とも交流を図る機会とする。	少年	12月	-	-	-	-	1	午後					
	25	石山あそび隊 (夏休み期間中に開催)	工作や調理などの体験活動を通じて、子どもの豊かな心を育む。 ※「木の小笛づくり」「電気ものづくり」「スイーツづくり」「キッズヨガ」を開催	少年	7～8月	4	午前	63	63	-	-				○	活動協力員
	26	青少年の居場所づくり	公民館の談話室を、子どもたちが安心して遊びや勉強等ができる「居場所」とし、交流のできる場とする。	総合	通年	222 自由参加	午前・午後・ 夜間	平均 22.1	4,256	125	午前・午後・ 夜間					
	27	学習室開放事業	公民館の1室を学習室として開放し、個人学習の支援をはかる。	少年	通年	193 自由参加	午前・午後・ 夜間	平均 2.8	532	125	午前・午後・ 夜間					
5. 高齢者の学習・ 社会参加支援	28	アクティブシニア	シニア世代の生活に役立つ知識(健康づくり・生きがい等)を習得するための講座を開催する。	総合	2～3月	-	-	-	-	3 連続講座	午後					
	29	遊わ塾 「けん玉健幸法」	頭や体を使ってストレスを発散でき、生きがいとネットワークづくりも図れるような趣味講座を開催する。	高齢者	10～11月	3 連続講座	午前	30	70	-	-				○	活動協力員
6. 現代的課題	30	働き女子の美活いろは塾	職場と家との往復以外の人間関係を築き、普段利用しない世代の方たちが公民館を訪れるきっかけとする。身体とこころを癒すとともに、学んだことを仕事や暮らしに活かす。	成人	11～12月	2	夜間	25	48	2	夜間					
	31	始めよう！からだチェックと健幸体操	健康寿命延伸への意識啓発を図るため、自分の体力を把握でき、継続可能な軽運動(3B体操)の推進を図る。	高齢者	12月	-	-	-	-	3	午前	○			○	東区健康福祉課、石山地域保健福祉センター、運動普及推進員
	32	働く世代が直面する家族の介護と仕事～カイゴとソゴトのはざままで	働いている世代を対象に、家族に介護が必要になった時に備え、介護や在宅医療について学び、仕事や家族の生活不安の解消を図る。(1回目：平日夜間、2回目：土曜午後開催)	総合	10月	2	夜間・午後	23	23	-	-	○				地域医療推進課、地域包括支援センター石山
7. その他	33	公民館へいってみよう！	住民の公民館デビューのきっかけづくり、公民館定期利用団体(サークル)の活性化を目的に、サークル体験会を開催する。	総合	7月	34	午前・午後・ 夜間	平均 14.0	476	-	-				○	石山地区公民館利用団体連絡協議会
	34	協議会主催事業(定期利用団体リーダー研修会)	新潟のまちや地域の魅力・関係性に気づく機会にするとともに、定期利用団体の運営や団体内での関係性の向上、団体同士の関係性について考える機会とする。	総合	6月	1 自由参加	午前	80	80	-	-				○	石山地区公民館利用団体連絡協議会
	35	第39回文化祭	定期利用団体の作品展示や音楽芸能の発表会を通じ、学習の成果を地域に発表することで学びの還元をはかる。	総合	9～10月	1 自由参加	午前・午後・ 夜間	928	928	-	-				○	石山地区公民館利用団体連絡協議会
	36	石山地区野球大会	野球大会を通じ、健康増進をはかり、石山地区管内で活動する団体の親睦・交流・連帯意識を深める。	総合	7月～8月	5	午前・午後	200	200	-	-				○	石山地区野球連盟
	37	自主グループ育成事業	事業共催により、自主グループの活動育成と支援をはかる。	総合	随時	11	午前・午後	75	217	1	午前				○	石山地区公民館利用団体連絡協議会
	38	人形劇サークル「赤ずきん」公演	人形劇鑑賞を通じて、親子関係・地域交流などの向上を図る。	総合	10月	1	午前	53	53	-	-				○	江南小学校区コミュニティ協議会
合計						526		2,484	8,754	301						

平成30年度事業実施状況(中間報告 11月15日現在)

木戸公民館																
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4~10月)				今後実施予定(11~3月)		連 携				備考
						回数	時間帯	参加者数 (人)	延参加者数 (人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育 コーディネーター	コミ協・自治 連・老人会等	運営委員・活 動協力員・ボラ ンティア	
2. 学・社・民の融合	1	三世代交流 木戸地域音楽芸能文化祭	木戸地域の小・中学校・PTA・コミ協、地域の芸能団体が実行委員会を組織し協働し、開催する文化祭。音楽・芸能をととして地域の三世代交流を図る。	総合	11月	1	午前・午後	505	505	-	-			○		木戸地区音楽芸能文化祭実行委員会
3. 家庭の教育力向上	2	子育てサロン「木戸っこらぶ」	未就園児とその保護者が安心して過ごせるような場を提供。ボランティアスタッフによる読み聞かせなどを通じて交流を図る。	総合	通年 (11・12月休み)	7 <small>自由参加</small>	午前	48	48	3 <small>自由参加</small>	午前				○	利用団体ぐりとぐら
合計						8		553	553	3						

## 東区公民館 H31年度予算案概要

## 【歳入】

(単位:千円)

区分	館別	H30 ①	H31 ②	増減②-①		備考
				金額	(%)	
使用料	東区計	2,229	作業日程・方針未定			貸館使用料
	中	1,128				
	石山	967				
	木戸	134				
雑入	東区計	362				コピー機・ 印刷機の 使用料
	中	169				
	石山	193				

## 【歳出】

(単位:千円)

区分	館別	H30 当初 ③	H31 当初 ④	増減④-③		備考
				金額	(%)	
維持 管理費	東区計	9,033	作業日程・方針未定			中・石山・ 木戸の 管理委託費、 審議会経費等
	中	3,620				
	石山	5,413				
事業費	東区計	2,258				事業実施の ための経費
	中	1,359				
	石山	899				

## 平成 31 年度事業に関する委員提案

(大桃委員)	
事業名(仮称)	アクティブ・シニア健康づくり
内容	・ヨガ教室 ・ウォーキング講座
目的・趣旨	高齢化社会の中、定年退職したシニア世代の健康寿命を延ばすことは、高齢者個人の幸せだけでなく、国家・社会の視点からも大きな課題である。こうした課題に積極的に取り組んでいくことは、公民館の大きな使命であり、魅力的な事業の企画・推進が求められる。
公民館から	(中)今年度、3B体操講座や山登り入門講座等を実施しました。来年度もシニア世代の健康づくりに資する事業を企画していきます。 (石山)委員の意見を踏まえ、東区健康福祉課とタイアップし、今年12月1日・15日に「始めよう！からだチェックと健幸体操」を開催予定です。この実施状況を踏まえ、来年度の事業内容の検討を行います。

(萑澤委員)	
事業名(仮称)	未来のまちづくり創造講座(こんな施設や乗り物があつたらいいな)
内容	子どもたちが、自分たちのまちをどのようにつくっていきたいかアイデアを出し合い、行政や関係者の方と、これから何ができるか方向性を探る。
目的・趣旨	あくまで想像の範疇となるが、子どもたちが自分の住むまちを、語り合い、アイデアを出し合うことで、愛着が生まれ、地元を大切にしようという気持ちを育むことができる。
その他補足説明	子どもなので、理念や方向性よりも、こんな建物や施設、交通機関があつたらいいなという発想で、自由に絵を描いたり、話し合ったりする活動がメインになる。関係者も専門家よりも、美術関係の方がよいかも。特に乗り物は、楽しいアイデアが展開すると思うので、形(絵)にすると、面白いかもしれません。
公民館から	(中)夏休みの子ども体験事業等の企画に、ご提案の趣旨を活かしたいと思います。

(遠見委員)	
事業名(仮称)	夏休みの宿題頑張ろう教室
内容	退職教師などを講師に迎えての子どもの学習室
目的・趣旨	子どもの居場所づくりと公民館活用への意識付け、利用率のアップ。
公民館から	(中)来年度も子ども学習会を開催する予定です。その際、教員OBの方も含め地域の方々の力を活かせるよう検討したいと思います。

(安原委員)	
事業名(仮称)	教養講座「新潟の近代史」
内容	<p>ちょん髷帯刀の武士が大手を振って歩いていた時から、僅か数十年で近代化を成し遂げた日本。世界中どここの国も成し遂げていない奇跡を私たちの先祖は実現した。江戸や京都、大阪だけでなく私たちが住むこの新潟でも実現した。その「歩み」を私たちはまるで知らない。何とか知りたいという気持ちで昨年「明治の新潟史」という形で実現した。いまこの続編を実現したいと考えている。明治だけでなく、大正も、昭和も加えて「新潟の近代史」を5年、10年というスパンで考えたいと思う。取り上げたい題材は限りなく存在する。こういう題材こそ、公民館の出番ではないか。</p> <p>地方新聞社の歴史、私鉄、タクシー、教育制度、どんな変遷を経てきたのか興味は尽きない。</p>
目的・趣旨	<p>全体として、公民館らしい事業を最近あまり見かけない様に思う。何よりも数字重視という傾向にあるためかと思う。しかし、これぞ公民館という事業は絶対に欠かせません。</p> <p>一方で、歴史博物館側でも企画をしても「市報にいがた」への枠が確保出来ずに講座自体を実施できない悩みを持っているようです。公民館には、枠があるのでその枠を使うことでお互いにメリットが生まれると考えます。そして、もう一つ前回感じたことは、学芸員さんたちのやる気です。ほぼ二時間を超える枠を自由に使えることが、やる気につながっていると思いますが、大変に頼もしい気持ちで一杯となりました。是非とも、またやる気を出してもらえる機会を作りたいと思うのです。</p>
その他、補足説明	必要経費が何処でも不足する中、各回の参加者には、資料代として100円程度負担してもらうことは当然やらなければなりません。いつまでも、無料というのはそろそろ改めるべきだと考えます。
公民館から	(中)安原委員からもご協力いただき、市歴史博物館と相談しながら講座を企画していきたいと思えます。

(井上委員)	
事業名(仮称)	こどもはみんな 宝物
内容	<p>「子ども理解」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものサイン～虐待・イジメなど 言葉で表現できない場合よく観察し、話を聴くことの大切さを知ろう。</li> <li>・信頼して話せる大人の大切さを知ろう。</li> </ul>
目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人ひとりが、どの子ども元気で明日に向かって、生きて欲しいと願います。</li> <li>・現実を見ると、虐待や、イジメなど、子どもにとって、つらく苦しい現実があります。</li> <li>・子どもの現実を知り、子どもの思いをいかに感じ、理解するかを学ぶ。</li> <li>・子どもが、困った時、苦しくなった時、相談して助</li> </ul>

	けてもらおうと思える大人に！！
公民館から	(中・石山) 小さなお子さんをお持ちの保護者を対象に、家庭教育学級の中でご提案を反映いたします。

(丸山委員)	
事業名 (仮称)	「住みよいわが町」～地域づくり活動の成功事例紹介 “ここが自慢” 「わが町(地域コミュニティ)の活動紹介」
内容	「地域の安全対策」(防災防犯対策)や「子供・青少年の育成事業」 「次世代に残したい特色ある事業」等東区 12 コミ協の成功事例を 持ち寄ってお互いの活動を学ぶ(他の区、地域でも参考になる事例 があれば依頼してそれを学ぶ)
目的・趣旨	「地域包括ケアシステム」等 地域の支え合い、助け合いのしくみづくりが 地域の課題となっており「地域コミュニティ活動活性化支援事業」として「公 民館」「地域課」「コミ協」協力のもと、各地域の取り組みや成功事例を学ぶ 機会を作る
公民館から	(石山)今年度開催した「お互いさまネット」の中で、助け合い活動を行って いる団体(じゅんさいの会、ヘルプ下山)や自治会(新石山第1自治会)の 取り組みを紹介しました。来年度は、個人でも取り組める助け合い活動等 について考え、参加者の助け合い意識向上を促す内容を検討中です。 (中)コミュニティコーディネーター養成講座を企画する中で、ご提案の趣 旨が活かせるよう検討します。

(高橋委員)	
事業名(仮称)	自分の身は自分で守るー護身術ー
内容	護身術を学び、身につける 女性のみ
目的・趣旨	安心安全な生活を営むため 夜間か土日の講座にして普段来られない人にも公民館に足を運んでもら いたい。
公民館から	(中・石山)警察署とも相談し、実施するかどうか検討します。

(小浜委員)	
事業名(仮称)	地域出前講座 もっと石山を知ろう
内容	地域住民を掘り起こそうという取り組みはみられています。曜日・時間帯 に工夫を入れることでもっと日常は参加できない地域住民に地元の事 を知ってもらう講座を若い人・プレシニア世代にも参加しやすい日程で。
目的・趣旨	高齢世代はどんどん外に出なくなり、石山地区の歴史も風習も薄れてしま ったり消えていってほしくないかという危惧の念がある。また普段より交流の ない世代交流を促すような取り組みをしてほしい。
その他	中地区に比べ石山の地域発見・探訪事業は少ないのでは、との発想か

補足説明	ら。また歴史ある石山地区をみんなでもっと知りましょうの観点からの発想です。
公民館から	(石山)地域の魅力発見を目的に、プロカメラマンが撮影した美しい風景写真を材料に撮影エピソード等を語る講座「ファインダーのこっち側」を夜間に開催。男性参加者が多く、幅広い世代から参加いただきました。ただ対象地が広いため、石山地域によりスポットを当てた内容にできるか、来年度に向けて検討します。

(石井委員)	
事業名(仮称)	人権講座
内容	人権問題について、多方面から話を聴き、参加者が主体となって考え、語り合う試み
目的・趣旨	本年10月に同趣旨の企画があるようですので、大いに期待しております。やはり公民館の本来的使命の社会教育の面からも、人気のあるカルチャーものだけでなく、このような基本的課題も取り上げ続けていただきたいと思います。「人権」というと硬いイメージで敬遠されがちですが、取り上げ方いかんでは身近な大切な問題として扱えるのではないのでしょうか。
その他補足説明	例えば、「子どもの権利について ～ わたしたちにも言わせて ～ 」 「高齢者の権利について ～ お年寄りのプライドを ～ 」
公民館から	(石山)人権について考えるきっかけとなる、意識啓発講座を企画・実施します。

(津野委員)	
内容	中高年向け体作り講座(ラジオ体操など軽めなもの)
目的・趣旨	ラジオ体操など無理のない範囲で体を動かす。持続させることで体作りができるのではないか。
公民館から	※大桃委員の意見に対する回答も参照ください。 (中・石山)公民館の講座の終了後も受講者が「健康づくり」を継続できるよう、①(一人でもできるよう)きちんと手法を身につけてもらい、②サークル立ち上げを図る、のどちらかを意識して、講座の運営に当たります。